

クラス番号	349	担当教員名	増井 香名子
		他専修学生受入上限人数	3名
テーマ	子どもと大人が安全・安心に生きるための社会や支援のあり方について		

ゼミナール概要

【キーワード】

子ども・家族・女性・ひとり親・児童虐待・DV・子育て・ソーシャルワーク・心理的支援・トラウマケア

【目的】

- ①人と人との安全・安心な関係を理解し、安全・安心を基盤に生きる力を身につける。
- ②支援者として、ソーシャルワーク実践の基礎力を身につける。
- ③卒業論文作成を通して、社会問題を多角的に考察し、書く力を身につける。

【内容】

人は誰しも安全・安心に生きていく権利を持っています。しかし、現実には、児童虐待やDVなど家庭内での虐待、女性への暴力、子どもや母子家庭の貧困など多くの人や子どもの安全・安心を脅かす社会状況があります。それらの実態を知るとともに、ソーシャルワークや社会がどうあるべきかを掘り下げて考えていきます。

【方法】

まず、安全・安心が脅かされる社会状況やジェンダー課題について広くメンバーの関心を高めます。また、ミニ講義、ゲストスピーカーや心理教育プログラム等の実施により支援現場を知り、支援技術の引き出しを増やす機会をもちます。それらの経験から自身の関心を絞り、既に明らかになっていることを整理し、どのように知るかを考え、卒業論文を作成します。

【授業計画】（2024年度例）

- 3 年生前半：講義とワークを取り入れ安全・安心を脅かす社会状況について関心を高め、それぞれのゼミ生が関心のあるテーマについて発表します。
専門職向けペアレントプログラム（CARE）の実施により、子どもとのかかわりを学びます。
- 3 年生後半：関心のあるテーマについて深く調べ、レポートにまとめます。
トラウマのケアのTFT（山崎ゼミ合同、任意参加）受講機会の提供をします。
- 4 年生前半：卒業論文の作成に取り組みます。研究方法を学びます。
- 4 年生後半：卒業論文の完成をめざします。リフレッシュを兼ねて知多半島内で遠足にいきます！
＊希望者が多ければ、関西福祉ツアーを実施します（2023年度・2024年度は、夏季ゼミ IN 京都）

担当教員からのメッセージ



○自己紹介：自治体の公務員社会福祉職として、児童福祉・女性福祉・障害福祉分野等で広く実践してきました。実践を通して「人は安全・安心に生きる権利がある」、そして「それを実現するには福祉や支援はどうあるべきか」を考えてきました。社会福祉士・精神保健福祉士・公認心理師の国家資格を持っています。

○エントリーシート：以下について記載してください。

①関心を持っている福祉分野や社会問題、②現時点での希望進路、③自分のいいところ・強み、④ゼミ希望理由

○ゼミについて：卒業後は福祉の仕事につきたい、社会福祉士等国家資格取得を目指しているという人を歓迎します。社会に出る前の貴重な2年間です。皆さんとともに緩やかな活動のなかでも、よく学んだと思えるゼミにしていきたいと思います。休まず出席し、積極的に取り組もうとする意欲ある学生を求めます。